

科目名	衛生学・公衆衛生学(昼間部)					
分野	専門基礎分野	担当教員	宮本 茜			
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	衛生学・公衆衛生学の理解に必要な概念やその評価方法、実践方法について理解を深める。また、各論として衛生学・公衆衛生学のうち、重要な分野についてそれぞれ解説する。					
学習の到達目標	衛生学・公衆衛生学の概念を理解し、学習した各分野について説明できる。					
	定期試験と授業態度(出席状況を含む)で評価する。					
使用テキスト	全国柔道整復学校協会監修テキスト					
参考文献						
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	衛生学・公衆衛生学とは？					
2	健康の概念・疾病予防					
3	人口統計					
4	感染予防					
5	消毒					
6	環境衛生①					
7	環境衛生②					
8	生活環境					
9	食品衛生活動					
10	母子保健①					
11	母子保健②					
12	学校保健①					
13	学校保健②					
14	前期まとめ					
15	総合評価(まとめ)					

16	産業保健①
17	産業保健②
18	成人保健
19	高齢者保健
20	精神保健
21	地域保健
22	国際保健
23	衛生行政
24	保健医療制度①
25	保健医療制度②
26	疫学①
27	疫学②
28	医療倫理
29	後期まとめ
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)

科目名	衛生学・公衆衛生学(夜間部)						
分野	専門基礎分野	担当教員	鴨田 剛司				
開講時期	2学年 1・2学期	単位数	講義	実技	演習	実習	
時間数	60		4				
科目の概要	衛生学・公衆衛生学の幅広い分野のうち、衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動、健康の概念、疾病予防、人口統計、感染症の予防、消毒、環境保健、母子保健、学校保健、産業保健、成人・老人保健、精神保健、生活環境・食品衛生活動、地域保健と国際保健、衛生行政と保健医療の制度、疫学など重要な分野を対象に講義を行なう。						
学習の到達目標	各分野における学習内容について、理解し説明できる。						
	定期試験と授業態度(出席状況を含む)で評価する。						
使用テキスト	全国柔道整復学校協会監修テキスト						
参考文献							
実務経験を有する者	○						
講義計画	講義内容						
1	公衆衛生学概論						
2	健康の概念・疾病予防						
3	人口統計						
4	感染予防						
5	消毒						
6	環境衛生①						
7	環境衛生②						
8	生活環境						
9	食品衛生活動						
10	母子保健①						
11	母子保健②						
12	学校保健①						
13	学校保健②						
14	前期まとめ						
15	総合評価(まとめ)						

16	産業保健①
17	産業保健②
18	成人保健
19	高齢者保健
20	精神保健
21	地域保健
22	国際保健
23	衛生行政
24	保健医療制度①
25	保健医療制度②
26	疫学①
27	疫学②
28	医療倫理
29	後期まとめ
30	総合評価(まとめ)

(2026年度)